



平成 17 年 12 月 9 日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 25 番 3 号  
日本通信株式会社  
代表取締役社長 三田 聖二  
(コード番号：9424)

問い合わせ先 取締役 CFO 福田 尚久  
電話 03-5767-9100 (代表)

### 当社社外取締役の退任に関するお知らせ

当社の社外取締役である北尾吉孝氏が、平成 17 年 12 月 9 日付けの辞任により、当社取締役を退任いたしましたので、お知らせいたします。

平成 17 年 11 月 30 日にお知らせいたしました通り、当社株式の海外売出し等の結果、ソフトバンク・インベストメント株式会社が管理するベンチャーキャピタルファンドによる当社株式の所有比率は、平成 17 年 10 月 31 日時点では当社発行済株式総数（潜在株式を含む）の 18.50%であったところ、海外売出しにかかる受渡し完了した同年 12 月 6 日の時点では、3.50%に減少しております。北尾吉孝氏は、ソフトバンク・インベストメント株式会社の代表取締役として、同社が管理するファンドが当社に投資をした直後から当社の社外取締役を勤めていただいておりますが、今般、同ファンドの当社に対する出資比率が低下したことを機に、当社取締役を辞任されたものです。

SBI ホールディングス株式会社代表取締役執行役員 CEO でもある北尾吉孝氏は、「ワイヤレス・データ通信という将来性の高い市場における有望企業である日本通信に、ソフトバンク・インベストメントが管理するファンドを通じて投資して以来、社外取締役としてその任に当たり、同社の成長・発展を見守ってきたが、同社が今年 4 月に上場し、今回の海外売出しによって新たに海外の機関投資家を株主に迎えたことにより、ベンチャーキャピタルファンドを預かる身としての役割を成功裡に終えることができた。大株主ではなくなったことから取締役という立場からは離れるものの、今後も日本通信の更なる成長・発展を外から応援していきたいと思う。」と述べられています。

また、日本通信株式会社代表取締役社長三田聖二は、次の通りコメントしています。「北尾氏には、日本通信が上場するに至る成長過程で多大なる貢献をしていただき、大変感謝している。当社の事業に対して深い理解と洞察を持っていただいている素晴らしい社外取締役であり、退任されることは残念である。しかし、今回の海外売出しにより主要株主という立場ではなくなった以上、この時点で退任すべきであるという申し出を北尾氏からいただき、コーポレートガバナンスに対する北尾氏および私のフィロソフィーに基づき、その申し出をお受けすることとした。ただし、北尾氏には、今後も立場こそ変わるが、当社の事業への支援を期待している。」

なお、北尾吉孝氏の退任により、当社取締役会の構成は、常勤取締役 4 名、社外取締役 4 名の計 8 名の体制となります。

## ■日本通信株式会社 会社概要

- 社名： 日本通信株式会社 (大証ヘラクレス市場：9424)
- 代表者： 三田 聖二 (代表取締役社長)
- 資本金： 2,245 百万円 (2005 年 11 月 30 日現在)
- 設立： 1996 年 5 月 24 日
- 事業内容： ●日本初の MVNO (Mobile Virtual Network Operator=仮想移動体通信事業者)
- 「インフィニティ・ケア」をサービスコンセプトにした End to End のワイヤレス・データ通信サービスを法人向けに提供
  - 「どこでもインターネット通信電池」をコンセプトにしたワイヤレス・インターネット接続商品をコンシューマ向けに提供
  - ユビキタス社会を実現する「通信電池」を OEM で提供、また、新しい通信サービスを各企業と共同で開発

※ 日本通信は、移動体通信事業者から無線通信ネットワークを調達し、データ通信サービスを提供する MVNO (Mobile Virtual Network Operator=仮想移動体通信事業者) です。

※ Infinity Care 及び通信電池は日本通信 (株) の商標または登録商標です。文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

以上

以上